

最新調査成果が語る新潟市の歴史

新潟市遺跡発掘調査速報会2024



沈んだ砂丘と現代の道路と弥彦山・角田山(五番田遺跡)

参加費
無料

申込み
不要

2025年

2月22日(土)

13:00~15:50(12:30開場)



奈良時代の竪穴建物(茶院A遺跡)

講演 (13:10~14:40)

「越後の中世・ 近世初期集落」

矢田 俊文氏(新潟大学名誉教授)

報告 (14:50~15:50)

ご ぼん だ

五番田遺跡(江南区)

ちゃ いん

茶院A遺跡(西蒲区)

ま ぼり かみ ぐみ

馬堀上組遺跡(西蒲区)



漆器椀出土状況(馬堀上組遺跡)

会場 | 新潟市民プラザ

(中央区西堀通6番町866番地NEXT21ビル6階)

定員 | 300名(先着)

新潟市遺跡発掘調査速報会2024

講演 13:10~14:40

「越後の中世・近世初期集落」

矢田 俊文氏(新潟大学名誉教授)

報告 14:50~15:50

五番田遺跡

(江南区)

2000年ぶりに姿を現した砂丘と遺跡

牧野 耕作(新潟市文化財センター)

最大の発見は、この遺跡が江南区内で調査された中で一番内陸の砂丘で営まれたことがわかったことです。この砂丘は、最も古い砂丘のグループの一部で茅野山の砂丘とつながっているようです。地面から深いところに砂丘と遺跡があり、地面を2.5~3.3m掘り下げてようやく見つかりました。遺跡からは縄文時代・弥生時代の建物跡や土器・石器が出土したことから、これらの時代の人々がこの砂丘で生活していたことがわかりました。



建物跡と土の堆積

茶院A遺跡

(西蒲区)

発見!奈良時代のキッチン付き住居

今井 さやか(新潟市文化財センター)

茶院A遺跡の発掘調査は令和4年度から始まり、今年度は最終年度にあたります。今年度の発掘調査では、南北に細長く伸びる微高地上に奈良時代・平安時代・鎌倉時代それぞれの人々が生活した痕跡が見つかりました。奈良時代と考えられる竪穴建物跡からは、焼けた土と共にカマドの部材とされる土製品が出土し、カマドと考えられます。この時期の一般的な住居構造を考える上で貴重な成果となりました。このほか、3年間の発掘調査成果の総まとめを報告します。



竪穴建物から出土した土師器と土製品

馬堀上組遺跡

(西蒲区)

中世の大きな井戸

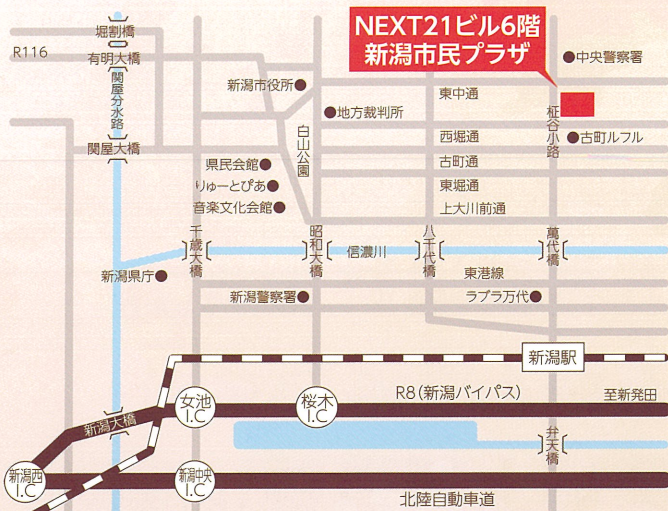
長谷川 眞志(新潟市文化財センター)

馬堀上組遺跡では、掘立柱建物や井戸・溝などが見つかりました。特に井戸は7基見つかり、そのうち2基は直径が4mを超える大型の井戸です。大半の井戸には、意図的に埋めたと考えられる炭の層が確認され、この層を中心に白磁や青磁などの舶来磁器や漆器椀、木簡、銅銭などが出土しました。当時の高級品である舶来磁器が多数出土しているため、経済力を持った人の存在がうかがえます。



井戸の炭層

会場で出土品を展示します



会場のご案内

新潟市民プラザ

新潟市中央区西堀通6番町866番地 NEXT21ビル6階

交通

JR新潟駅バスのりばより萬代橋ライン(6番線)、西小針線(7番線)、有明線・信濃町線(8番線)、浜浦町線(9番線)、鳥屋野線(10番線)で「古町」バス下車 徒歩1分
※専用駐車場はございません。提携駐車場については市民プラザHPをご確認ください。

主催・お問い合わせ

新潟市文化財センター

〒950-1122 新潟市西区木場2748-1

TEL 025-378-0480 FAX 025-378-0484

E-mail bunkazai@city.niigata.lg.jp